

## 学会通信(二〇一〇年七月・二〇一〇年二月)

### ◎学会活動

現代中国学会主催講演会

一〇月一二日「現代ラサとチベット文化」  
村上大輔(中国西藏・日本教育文化交流会  
協会代表)

一二月二九日「一九九〇年代以降の中国長  
編小説」季進(蘇州大学文学院教授)

### ◎学会員活動

川村亜樹『英文新聞が英語プレゼンテーシ  
ン力向上の源泉』アーキテクト社、二〇一

〇年九月)、『Total English Training through  
Presentations for Japanese Students』(発表、

The 2nd Gyeonggi International Teachers'  
Conference' 於韓国、一〇月二二、二三日)

『英字新聞「日経ウィークリー」活用法』  
(共著、大学教育出版、二〇一〇年十一月)

黄英哲『帝国主義と文学』(共編、研文出  
版、二〇一〇年八月)、『許寿裳遺稿』第一

巻(共編、福建教育出版社、二〇一〇年九  
月)、『台湾省編譯館檔案』(共編、福建教  
育出版社、二〇一〇年一〇月)

高明潔『二〇一〇中国(寧夏)国際投資貿  
易&中国・アラブ国家経済貿易論壇をめぐ  
って』(学会発表、愛知大学国際中国学

研究センター主催『第二回中国の国際化に

関するワークショップ』拡大する中国の国  
際的影響と国際社会の対応』於愛知大学車  
道校舎、二〇一〇年一二月五日)

砂山幸雄『近代中国・教科書と日本』(共  
編、研文出版、二〇一〇年八月)

馬場毅『近代天津小站官田水利』(学会発  
表、山西大学主催「首届中国水利社会史国  
際學術検討会」於臨汾、二〇一〇年八月一

二日)、『近代中国華北農村の水利組織和村  
落、宗教圈問題』(論文、歐陽恩良主編

『近代中国流動与社会控制』社会科学文献  
出版社、二〇一〇年一月)、『寧夏回族自

治区における節水型農業・農村建設』(学  
会発表、愛知大学国際中国学研究センター

主催『第二回中国の国際化に関するワーク  
ショップ』拡大する中国の国際的影響と国

際社会の対応』於愛知大学車道校舎、二〇  
一〇年一二月五日)

松岡正子『羌族 川西南藏族、嘉絨藏族、  
普米族以及納西族的「祭山」—祭山の系譜—  
(論文、『藏彝走廊—文化多様性、族際互动  
与發展』民族出版社、二〇一〇年九月)、

「五・一二汶川地震後羌族文化資源の重建與  
創構—羌文化」是怎样被創構的』(論文、

『二〇〇九文化資源經典講座暨研究生學術  
研討会』国立台北芸術大学文化資源学院、

二〇一〇年五月)

中国 21 Vol. 35 予告(11年9月刊予定)

### 特集●中国法の諸相(仮題)

改革開放政策の実施から三十数年、中国は著しい経済発展を遂げ、世界経済を牽引する存在となっている。この間、中国は法制建設にも力を注いできた。一九九七年の党大会で提起された「依法治国」、「社会主義法治国家を建設する」基本方略は、一九九九年の憲法改正時に、条文に反映された。立法面では中国の特色ある社会主義法体系の構築を目指し、憲法を根本大法とした法体系、法規範の整備が行われてきた。昨年には、「依法治国」を更に推し進め、「法治政府」の実現に向けて、「國務院関與加強法治政府建設的意見」が公表された。だが、研究者からは、司法の権威不足、判決などの「執行難」、さらには「司法不公」、「司法腐敗」といった問題も指摘されている。本特集にあつては、中国法を研究する日中の学者、実務家による論考を通じて、中国法の諸相を考察するものである。

【インタビュー】浅井敦 【論説】小口彦太、季衛東、張紅、湛中榮、小嶋明美、櫻井次郎、趙正群、森啓太ほか